

# タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2018 助成の概要と推薦理由

助成番号 18-3-1

プロジェクト名 病気の子どものきょうだい支援を広げるためのシブリングサポーター養成事業（3）  
団体名 特定非営利活動法人しぶたね  
代表者名 清田 悠代  
所在地 大阪府  
助成額 200万円  
助成期間 2019年4月1日～2020年3月31日  
設立年 2003年  
URL <http://sibutane.com/>



この団体は、病気の子どものきょうだいを支援するとともに、きょうだいが置かれている現状を伝え、支援の輪を広げる活動に取り組んでいる。

重い病気をもつ子どもの家庭では、きょうだいにも負担がかかっていることに気が付かれにくく、不安、淋しさ、無理に頑張ろうとする姿勢などのストレスから、心身に不調をきたすことがある。成長後も生きづらさを抱えることもあるが、このようなきょうだいの気持ちに気づき成長を支える場は未だ少なく、サポートできる支援者も限られている。

このため、本プロジェクトでは2年間にわたり、きょうだいの支援者（シブリングサポーター）を各地に増やす取り組みを行ってきた。この間、支援者向けの研修会（シブリングサポーター研修ワークショップ）を全国で13回行い、400人を超えるサポーターを養成してきた。また研修修了者がつながる年1回の「シブリングサポーターミーティング」により、全国ネットワークづくりも進みつつある。さらに昨年は、「きょうだい支援リーダー会議」として各分野のリーダーが集まり情報交換することで、現在の日本のきょうだい支援の到達点と今後進むべき方向性を確認するなど、非常に充実した展開で高く評価される。

3年目にあたる今回の助成では、支援者研修のさらなる充実を図るため、テキスト改訂を通じて研修システムのブラッシュアップを行う。また研修会の開催地域を広げながら実施することで、各地域に理解者や実践者（サポーター）を増やす。さらに年1回の大会の定期開催の定着化を図り、支援の充実と全国ネットワークの基礎固めへの道筋をつける。新たに、地域で病気のこどもときょうだいを育てている保護者の不安を軽減し、情報提供によって支援につなぐために、「きょうだい支援リーフレット」を作成し配布する。

本助成を通じて、病気の子どものきょうだいの支援者養成プログラムが確立し、支援者が各地に増えることで、地域で不安を抱え孤立しがちな病気の子どものきょうだいや家族の受け皿づくりにつながることを期待する。